

今は「命を守る」を最優先に

市民の命を守ることを最優先にし、市民生活や経済活動への影響に対し、10回の補正予算を編成し、スピード感を持ち、切れ目のない新型コロナ感染症対応をまいりました。（抜粋）

- * 経済変動対策貸付金10年間の利子補給（令和2年3月）
地域企業財政への影響に対応し、実質無利子とするため県の融資制度に併せ市が負担する利子補給金を増額
- * 小学校、中学校、幼稚園、保育園への対応（令和2年4月）
学校など子どもたちが集まる教育施設に対し、感染拡大の予防策を実施
- * ネットショップを利用した消費対策キャンペーン（令和2年4月）
伊東の名産品をネット販売でPRし売上に繋げるとともに、事後の来遊にも繋げる仕組みを構築
- * 感染予防対策協力金（令和2年5月）
休業要請対象事業者に対し、指定期間内に休業した場合、協力金20万円を支給
- * 中小企業応援給付金（令和2年5月、3年1月）
売上が落ちている事業者に対し、減収額に応じ最大20万円の給付金を約3,000事業者に支給
- * 子育て支援医療費助成（令和2年6月）
子育て世帯の負担軽減策として高校生世代までの医療費に係る自己負担分を完全無償化
- * 観光宣伝補助事業（令和2年6月）
宿泊キャンセルをされた方に対する案内状の送付や市民・県民限定の市内宿泊施設助成事業を実施
- * プレミアム商品券（令和2年7月、3年1月）
市内経済活性化策として、上乘せ率20%の商品券を発行し、消費喚起策を実行
- * 生活困窮者自立支援事業費用の増額（令和2年9月、3年1月）
相談件数や住宅確保給付事業の申請数の増加にともなう費用の増額
- * 小中学校教育推進事業（令和2年9月）
小中学校へ1人1台タブレット配付の予算を成立
- * 感染防止対策奨励金（令和3年1月）
感染防止対策に取り組む事業者に対し、一律5万円の奨励金を支給

■ 皆様の「声」をお聞かせください ■

E-mail ono-tatsuya@bird.ocn.ne.jp
公式サイト www.ono-tatsuya.com
TEL.0557-36-2089/FAX.0557-36-2080



ごあいさつ

日頃より温かいご支援ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

平成29年5月から、市長として全身全霊をかけた突き進み、早4年が過ぎようとしています。

昨年、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会経済活動を始め私たちの暮らしが大きく変わる中、皆様の感染拡大防止に対する細やかな取り組みやマスク着用などのご配慮に深く感謝申し上げます。

今は「命を守る」を最優先に考え政策を実行し、同時に皆様の暮らしを立て直すため、特に地域経済が深刻な打撃と様々な影響が出ていることから、徹底して景気対策、事業者支援、雇用維持など、この局面を乗り越えるために、私が先頭に立ちリーダーシップを発揮し、迅速に対応してまいります。

4年間「市民が主役」であることを常に考え、様々な新規政策についてもボトムアップによる皆様からのご提案を重視してまいりました。

今こそ、皆様の周りにいる、力を必要としている人たち、力を貸してくれる人たちが、お互いを思いやり、助け合い、意見を出し合うことで明日への希望が見いだせます。

皆様とつくる、私の「新しい伊東スタイルへの挑戦」に、ご協力をお願いいたします。

小野 達也

プロフィール

昭和38年2月23日生まれ

伊東市立西小学校卒、伊東市立北中学校卒
静岡県立焼津水産高校卒

平成17年 静岡県議会議員に初出馬ながら初当選（通算3期）

平成29年 伊東市長選挙当選

令和3年2月1日現在 伊東市長（1期）

小野達也 後援会

〒414-0002 静岡県伊東市湯川1-6-2

TEL.0557-36-2089/FAX.36-2080

新しい伊東スタイルへの 挑戦!

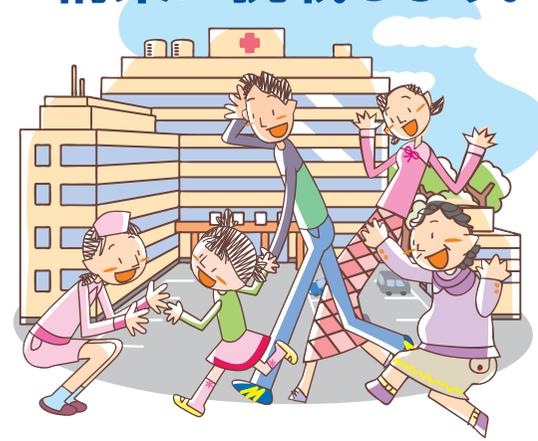
小野達也

おの
たつや

これから 皆さんがワクワクするような「新しい伊東スタイル」の構築に挑戦します。



- * 現在の情勢や政策などにより観光産業が大きく変化している今だからこそ、いち早く伊東市の観光資源や温泉文化の蓄積を活かした伊東観光スタイルを打ちだし、新たな観光地として再構築します。
- * 団塊の世代が75歳を迎える2025年問題を控え、医療・福祉・介護等専門職の人材確保と若者の就業支援を図るとともに、誰もが安心して子どもを産み、子育てを楽しめる環境づくりに取り組みます。
- * 世代、性別、地域の隔てなく皆さんの意見を伺うタウンミーティング、未来ビジョン会議、市長への手紙事業などを継続実行し、市政への反映、行政対応のスピードを加速度的にアップし、より速く皆さんの思いを形にします。



4年前に 皆さんにお約束した「市民が主役」となる公約事業を着々と進めています。

「みんなが つくる 伊東市」

- * 若い人たちによる「未来ビジョン会議」を発足し、4年間で32回の会議を行いました。子育て支援策や伊東市のブランドなどについての提案をいただき、まちづくりの方針に反映してまいりました。その中から「子育て支援ポータルサイト」を創設しました。
- * 市内各所にて「タウンミーティング」等（4年間で開催数：68回、延べ参加者：2821人、意見数：1097件）を開催し、皆さんから地域にかかわる生の声をお聞きし、迅速に対応いたしました。また「市長への手紙」等（意見数：3351件）でも市民の皆さんから様々な意見や要望をいただき、広報誌やホームページでも回答しております。
- * 「滞在型リフレッシュリゾート」実現のため、市内で長く過ごしていただく取り組みとして、「伊豆高原観光オフィス」を立ち上げ、体験施設を紹介するサイトを創設、モデルコースの紹介などを行いました。
- * シルバー人材センターと協力し、高齢者の方の生きがいや居場所づくり、地域情報発信を目的とした「シルバーサロンふじのゆめ」を創設しました。



「みんなが 楽しむ 伊東市」

- * 松川遊歩道へ和風街灯設置、東海館の建物装飾、藤の広場でのイベント開催、オレンジビーチにウォーターパーク設置など人の集まるスポットづくりをしました。
- * 図書館・文化ホール建設に向けた検討会を開催し、候補地や規模の検討を進め、構想をまとめつつあります。
- * 市民運動場の人工芝化は令和2年度に着工予定でしたが、コロナ対策を優先し令和3年度へ延期とし年度内の完成を目指します。
- * シティプロモーションとして市内での撮影経費を一部補助するなどのロケ支援をし、テレビでの露出を増やしました。



「みんなが 暮らす 伊東市」

- * 子育て支援策として就学前1年間の保育料無償化を実現、また、高校生世代までの医療費無償化も実現しました。
- * さらに、子育てに役立つ情報を知っていただくためのスマホアプリ・冊子「いとう子育てナビみらい」を創設しました。
- * 市内出身の学生の方が卒業後多く市内で就職していただくため、伊東市の就学貸付金返済の半額免除を実現しました。
- * 健康寿命を延ばすため、高齢者の体力づくりを支援する健康体操リーダーを育成し、健康体操クラブを開催しました。
- * 移住者を増やすため、伊東市で働きたい人や子育てのための支援をまとめた「伊東市移住・定住促進プラン」を作成しました。

これまでも、これからも
有言実行!!
みんなとともに